

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年6月14日
【四半期会計期間】	第55期第1四半期（自平成25年2月1日至平成25年4月30日）
【会社名】	株式会社オーエムツーネットワーク
【英訳名】	OM2 Network Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 大越 勤
【本店の所在の場所】	東京都港区芝大門2丁目4番7号
【電話番号】	03(5405)9541
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 澄川 新一
【最寄りの連絡場所】	東京都港区芝大門2丁目4番7号
【電話番号】	03(5405)9541
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 澄川 新一
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪府大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第54期 第1四半期連結 累計期間	第55期 第1四半期連結 累計期間	第54期
会計期間	自平成24年2月1日 至平成24年4月30日	自平成25年2月1日 至平成25年4月30日	自平成24年2月1日 至平成25年1月31日
売上高(千円)	8,158,679	8,376,764	33,737,167
経常利益(千円)	447,313	406,429	1,601,281
四半期(当期)純利益(千円)	238,213	215,678	716,836
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	242,529	220,398	719,012
純資産額(千円)	7,048,516	7,607,715	7,523,640
総資産額(千円)	13,172,543	13,963,981	13,933,321
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	34.95	31.64	105.17
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	53.5	54.5	54.0

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、平成25年2月1日付で当社の連結子会社であるミスタースタミナ株式会社は、株式会社オーエムツーミートを存続会社として合併いたしました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政権交代による経済政策への期待感から円高の是正や株価の上昇など景気回復の兆しは見られたものの、欧州の金融不安や新興国経済の減速が続き、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループ中核事業の属する食品小売及び外食業界におきましても、経済政策等による消費者心理の改善が期待される一方、お客様の節約・低価格志向は依然として根強く、企業間の競争は激化しております。また品ぞろえを充実するコンビニエンスストアとの競争も加え、厳しい状況が続いております。

このような中で当社グループは、主に主力事業である食肉等の小売業において、経営の強化、コスト削減の一環として、前期末において連結子会社でありましたミスタースタミナ(株)を平成25年2月1日に(株)オーエムツーミートに吸収合併するとともに、新規ディベロッパーとの取り組みによる出店や既存店活性化活動の継続、提案型販売の強化等を進めました。外食事業にあってはステーキレストランチェーン事業の競争力向上のための施策を実施し、また加工事業における新規顧客開拓及び既存顧客との深耕取引等に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は83億76百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は3億62百万円（同4.1%減）、経常利益は4億6百万円（同9.1%減）、四半期純利益は2億15百万円（同9.5%減）となりました。

営業の概況をセグメント別に記述すると以下の通りであります。

「食肉等の小売業」

当第1四半期連結累計期間中の開店は6店、閉店は4店であり、その結果、当第1四半期末の店舗数は146店になりました。内訳は食肉小売店117店（前期末比1店減）、惣菜小売店29店（同3店増）であります。当セグメントを取り巻く環境は上記記載の通りで、その結果売上高は50億3百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益は2億90百万円（同10.0%減）となりました。

「食肉等の製造・加工業」

主力のハム・ソーセージ部門において取引先の新規深耕開拓に加え、新規商品やリニューアル商品を導入し、売上高は16億38百万円（前年同期比12.7%増）となりました。営業利益は原料相場の高騰等の影響から48百万円（同40.5%減）となりました。

「外食業」

当第1四半期連結累計期間中の開店が1店あり、その結果、当第1四半期末の店舗数は61店になりました。売上高につきましては、(株)焼肉の牛太は新店の牽引、(株)オーエムツーダイニングは新店やメニュー改廃等効果の結果、19億1百万円（前年同期比10.2%増）となりました。営業利益につきましては、店舗損益の改善の他、前年同期にあった(株)焼肉の牛太ののれんの償却47百万円が償却完了によりなくなったため、営業利益は1億27百万円（同135.7%増）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	17,280,000
計	17,280,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数 (株) (平成25年4月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年6月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,335,634	7,335,634	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100 株であります。
計	7,335,634	7,335,634	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年2月1日～ 平成25年4月30日	-	7,335,634	-	466,700	-	1,529,877

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年1月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年4月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 519,400	-	権利内容に何ら限定のない 当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,815,300	68,153	同上
単元未満株式	普通株式 934	-	同上
発行済株式総数	7,335,634	-	-
総株主の議決権	-	68,153	-

(注) 上記完全議決権株式(その他)の欄には、証券保管振替機構名義の株式300株(議決権の数3個)が含まれております。

【自己株式等】

平成25年4月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
株式会社オーエムツー ネットワーク	東京都港区芝大門 2-4-7	519,400	-	519,400	7.08
計	-	519,400	-	519,400	7.08

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年2月1日から平成25年4月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年2月1日から平成25年4月30日まで）に係る四半期連結財務諸表についてUHY東京監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,765,994	5,348,108
受取手形及び売掛金	847,243	874,689
テナント未収入金	1,035,375	1,035,784
商品及び製品	560,188	602,236
仕掛品	10,402	11,168
原材料及び貯蔵品	244,568	410,982
繰延税金資産	104,414	118,570
未収入金	141,253	197,688
その他	133,493	197,784
貸倒引当金	21,297	20,224
流動資産合計	8,821,636	8,776,789
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,997,315	4,177,591
減価償却累計額	2,411,508	2,458,525
建物及び構築物(純額)	1,585,806	1,719,066
機械装置及び運搬具	1,704,185	1,735,911
減価償却累計額	1,452,963	1,465,322
機械装置及び運搬具(純額)	251,221	270,588
土地	749,186	749,186
その他	1,422,049	1,373,244
減価償却累計額	988,870	1,010,944
その他(純額)	433,179	362,300
減損損失累計額	447,993	434,157
有形固定資産合計	2,571,400	2,666,984
無形固定資産		
のれん	29,099	27,280
その他	152,551	148,497
無形固定資産合計	181,651	175,778
投資その他の資産		
投資有価証券	120,875	124,794
長期貸付金	8,328	32,877
繰延税金資産	247,235	231,746
敷金及び保証金	1,460,829	1,447,398
投資不動産	441,636	441,636
減価償却累計額	37,015	44,443
投資不動産(純額)	404,620	397,192
その他	138,065	131,341
貸倒引当金	21,322	20,922
投資その他の資産合計	2,358,632	2,344,429
固定資産合計	5,111,684	5,187,192
資産合計	13,933,321	13,963,981

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,172,233	2,479,636
短期借入金	560,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	410,458	393,801
未払金	428,849	458,650
未払法人税等	478,841	154,889
賞与引当金	104,414	198,137
その他	530,229	560,789
流動負債合計	4,685,027	4,745,904
固定負債		
長期借入金	1,163,438	1,071,813
長期未払金	1,956	1,360
退職給付引当金	231,269	220,780
役員退職慰労引当金	72,179	59,079
資産除去債務	178,633	183,360
その他	77,176	73,967
固定負債合計	1,724,653	1,610,361
負債合計	6,409,680	6,356,266
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,700	466,700
資本剰余金	1,064,000	1,064,000
利益剰余金	6,457,739	6,537,094
自己株式	476,078	476,078
株主資本合計	7,512,361	7,591,715
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,279	16,000
その他の包括利益累計額合計	11,279	16,000
純資産合計	7,523,640	7,607,715
負債純資産合計	13,933,321	13,963,981

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)
売上高	8,158,679	8,376,764
売上原価	5,025,658	5,302,439
売上総利益	3,133,020	3,074,324
販売費及び一般管理費	2,755,456	2,712,119
営業利益	377,563	362,204
営業外収益		
受取利息	633	1,822
受取配当金	392	560
持分法による投資利益	8,698	-
家賃収入	27,197	33,902
協賛金収入	29,031	22,632
受取手数料	3,434	6,528
その他	22,860	3,889
営業外収益合計	92,249	69,335
営業外費用		
支払利息	5,621	4,259
持分法による投資損失	-	3,815
不動産賃貸原価	13,260	16,877
その他	3,616	157
営業外費用合計	22,499	25,110
経常利益	447,313	406,429
特別利益		
有形固定資産売却益	-	84
特別利益合計	-	84
特別損失		
有形固定資産除却損	6,258	192
店舗閉鎖損失	32	18,786
その他	-	1,109
特別損失合計	6,290	20,088
税金等調整前四半期純利益	441,023	386,426
法人税、住民税及び事業税	225,258	172,057
法人税等調整額	22,448	1,309
法人税等合計	202,809	170,747
少数株主損益調整前四半期純利益	238,213	215,678
四半期純利益	238,213	215,678

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	238,213	215,678
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	4,315	4,720
その他の包括利益合計	4,315	4,720
四半期包括利益	242,529	220,398
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	242,529	220,398

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結累計期間
(自平成25年2月1日
至平成25年4月30日)

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間においてミスタースタミナ(株)は、当社の連結子会社である(株)オーエムツーミートとの合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

テナント未収入金

前連結会計年度(平成25年1月31日)

ショッピングセンター及び百貨店等にテナントとして出店している店舗の未精算分にかかる売上金の未収入金額であります。

当第1四半期連結会計期間(平成25年4月30日)

ショッピングセンター及び百貨店等にテナントとして出店している店舗の未精算分にかかる売上金の未収入金額であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)
減価償却費	137,129千円	125,047千円
のれんの償却額	49,146	1,818

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年2月1日至平成24年4月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年4月26日 定時株主総会	普通株式	136,323	20	平成24年1月31日	平成24年4月27日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年2月1日至平成25年4月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年4月26日 定時株主総会	普通株式	136,323	20	平成25年1月31日	平成25年4月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年2月1日 至平成24年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	食肉等の 小売業	食肉等の製造 ・加工業	外食業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	5,116,464	1,324,391	1,717,824	8,158,679	-	8,158,679
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,658	129,873	7,605	152,137	152,137	-
計	5,131,123	1,454,264	1,725,429	8,310,817	152,137	8,158,679
セグメント利益	322,553	81,195	53,979	457,728	80,164	377,563

(注)1. セグメント利益の調整額 80,164千円は、セグメント間取引消去 13,598千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 66,565千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	食肉等の 小売業	食肉等の製造 ・加工業	外食業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	4,973,415	1,510,307	1,893,041	8,376,764	-	8,376,764
セグメント間の内部売上高 又は振替高	30,360	128,066	8,286	166,712	166,712	-
計	5,003,775	1,638,373	1,901,328	8,543,476	166,712	8,376,764
セグメント利益	290,215	48,295	127,232	465,743	103,538	362,204

(注)1. セグメント利益の調整額 103,538千円は、セグメント間取引消去 28,220千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 75,318千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)
1株当たり四半期純利益金額	34円95銭	31円64銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	238,213	215,678
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	238,213	215,678
普通株式の期中平均株式数(株)	6,816,183	6,816,181

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年6月14日

株式会社オーエムツーネットワーク
取締役会 御中

UHY東京監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 原 伸之 印指定社員
業務執行社員 公認会計士 谷田 修一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社オーエムツーネットワークの平成25年2月1日から平成26年1月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年2月1日から平成25年4月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年2月1日から平成25年4月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社オーエムツーネットワーク及び連結子会社の平成25年4月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。